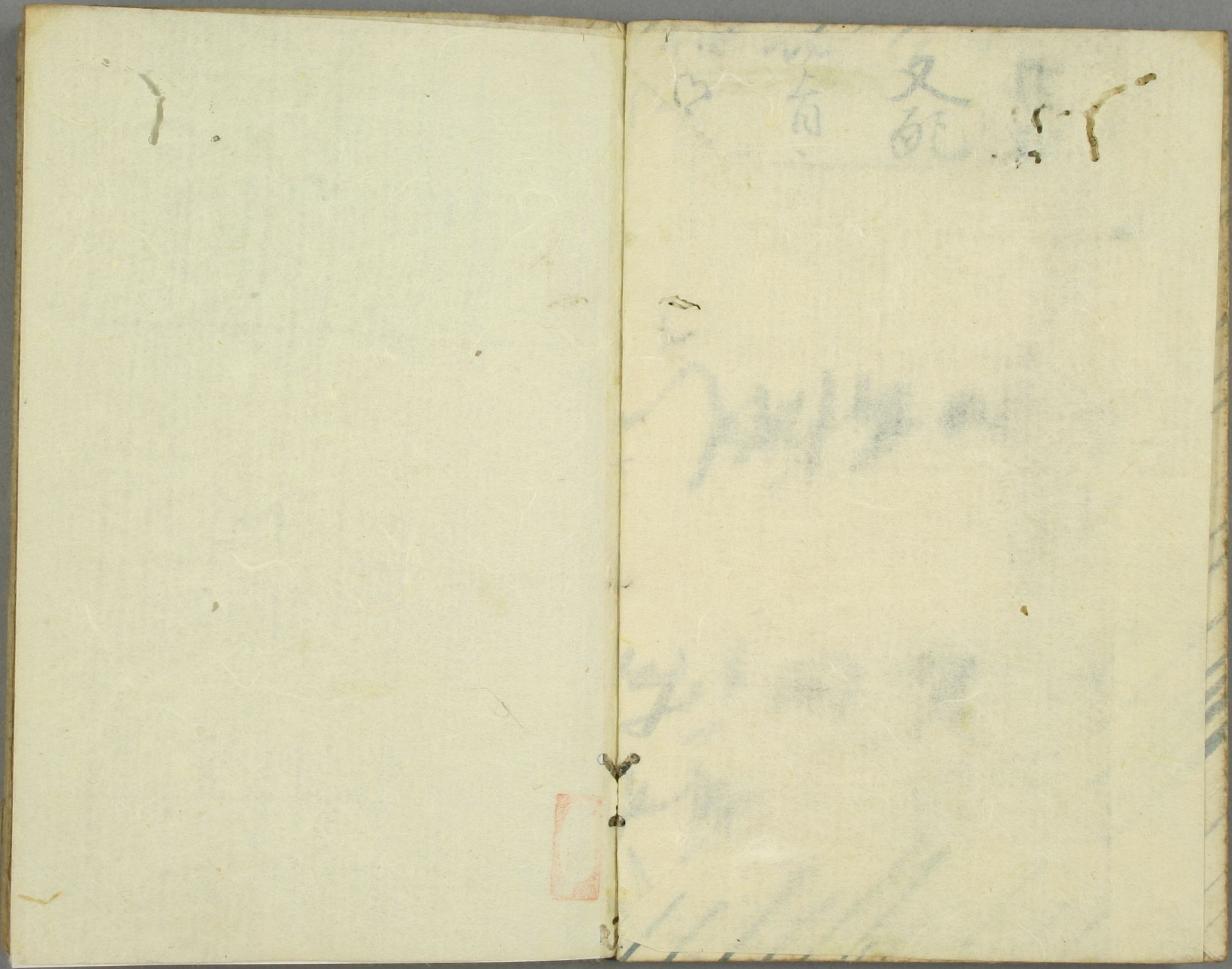


清和帝女諸子院
大邦政子院

特別
14
696
154





又





清和源氏諸家分流

早野光泰撰



不
696
154
特

○六孫王經基 三男滿季 高屋祖

同四男滿快 沓沓祖

○多田滿仲 五男賴平 相系祖 太田祖

同六男賴範 戶部祖 寺坊祖

○賴信將軍 二男賴清 村上祖

同三男賴季 兼梨祖

同四男義政 田井祖

○義家 五男義時 三男義基 石川祖 同男義廣 綿成祖

○義家 七男義隆 本村三郎 同九男義賢 大曾部力先生

同十男義則 信太三郎 同十一男義廣 志多三郎

同十二男義盛 新宮十郎

○高朝 三男茂 尾頭波高老頭祖

○義朝 七男公範 賴 男公範 圓 法師 吉見祖

○賴朝 三男忠久 海津 三郎

下野源氏分流 足利家

○義國 二男義康 足利 義康 同義康 二男義清 矢田 判官

○足利義康 七男義兼 八男義純 山岩 松山 祖

○義康 四男義胤 柳井 祖

○義兼 二男義氏 八男長氏 上統 太郎 吉良 祖

○義氏 二男泰氏 八男家氏 斯波 祖 同二男義景 洗河 祖

同四男賴茂 石蓋 高 有蓋 同五男茂年 大夫 法師 上野 祖

同六男公保 法師 色 祖 同七男賢室 富 法師 小波 祖

同八男基氏 加子 六郎 加子 祖

○尊氏五代成氏男義明 宮平祖 △成氏十代五朝喜連川
○尊氏男竹卷九日男直久 中言武衛一子直正 青生尾長守

上野源氏分流 新田家

○義國長男義重 新田大炊 義重男 同義兼長政氏 長男
惟義 今并五節

○政氏 家貞 堀口孫 其舍弟 家氏 大館次郎

○義重二男義俊 新田大炊 同二男家範 新田大炊 山名祖

同三男義兼 新田大炊 同四男義季 得川 德川祖

同五男經義 新田五郎 齋祖 ○經義男氏經 長田 長田祖

○義重七世二節太郎朝氏長男義貞 男 貞氏

櫻田新田
由良櫻田祖

徳川家分流

得川四郎

○新田次分家重四男義季一人男長世田中守

同三男頼有徳川四郎 同三男頼成一人男満氏田中守

○徳川四郎義我末子九世親氏 徳川松平太四郎

長河亦有親子

○親氏一男廣親江井徳太郎 同二男信廣松平竹君

○親氏三男竹本松平和泉守 同信光五男親忠竹千代徳川右京亮

○信光七男興嗣徳川守 同八男光長紀伊守 同九男光方深津祖

同十男光親徳川守

○親忠一男親長岩津太郎 同二男采元源二郎大給祖

同三男長親徳川守

○親長一男信忠徳川守 同二男親盛左京亮 同三男信定内膳正

同五男友井祖

右何連茂分流バカリ出ス

多田仲長男 抄津源氏分流

○源賴光一男 賴國三男 賴實九左門尉 同十男 賴綱二男

國直山縣三郎 國直長男 能勢虎守

○賴國土曾師光 二男 滿隆 福島三郎

○賴綱長男 仲政三男 光重 深栖三郎 同四男 恭政 池田祖 右馬亮

○仲政長男 賴政二男 兼綱長男 頭綱源大夫 大河內祖

○賴政長男 仲綱二男 廣綱源守 大田祖

○仲綱一男 宗室 下間筑後守

出羽源氏分流

○賴國六男 四房 輝孫 光信 五男 光義 男 光國 伊豆守 高井祖

○光信長男 光基 一子 光衡 美濃守 土友祖

美濃源氏分流

○從五位下 光衡土友 二男 光時 三條外代 淡路下門尉 尾列中務 源中色 佐

○光衡長男 光行 輝孫 光定 三男 定親 蜂屋原 祖

臣叙守

○光定四男賴貞七男賴基明知九郎同十一男賴清一男

賴雄一男詮賴揖斐文治守同二男光名上定官内少輔楠木兵部大輔

○賴清六男賴康二男滿貞島田守

同三男定直官沼新三郎

○賴清二男賴忠一男光忠月海太郎

同二男賴名大業清少同三男賴兼西郷上總介

同四男賴音大須三郎同五男賴益益洋上守

○賴益男成賴四男尚賴佐良木三郎

同五男光賴長男長近兼大守金美兵部大輔

○成賴長男美濃守政房四男光高梅戶氏大輔

同五男光周輝斐五郎同六男光敦乾馬單守

五波分流

○光定三男定親一男師親原彦次郎

○原彦次郎師親二男貞季土居遠江守

○同師親一男師實一男賴近秋原刑部少輔

○同三男賴近外山出羽守

大和源氏分流

波仲二男

○賴親二男賴遠福田次守 同三男賴基田村冠者

○賴親一男賴俊一男賴治一男親弘一男親治宇野七郎

○宇野七郎親治六男義治土方祖

○賴遠一男有光石川冠者 有光嫡男川尻四郎 光賴柳津源次

同有光二男元光沢井三郎 同三男長光石川三郎

甲斐源氏分流

武田家

伊豆守賴義三男

○義光新羅帝一男義清武田冠者同三男義業相模守

同四男親義同田冠者同五男遠光信乃信氏

加美次郎

○義業一男義定山江氏同二男昌義依竹冠者

源做祖

同三男盛義平賀冠者

平賀祖

常陸源氏

○武田義清一男清光逸見黑澤同四男師光方平三郎

○逸見黑澤太清光

長曾光長子

其全義

逸見冠者

○清光三男義定苗三郎同四男清隆安井三郎

同五男光義異五郎同六男義行左吉花人

同七男義成淡利同八男信清八代三

同九男四嚴曾根禪師

○安田三郎義定長男三子我孫當男為賴漢系三郎

○逸見清光二男大郎早世守信義一男忠賴一五郎

同二男忠賴板垣三郎同三男有義武田兵衛

同四男信光伊澤五郎二郎○忠賴男行忠其利

○信光一男信政武田伊豆守一男信廣奥田三郎

○信光五男信隆山岩崎之守同六男信繼石橋八郎

同七男信基馬淵九郎

○信光三男冬高朝信二男次郎信經一男時信甲斐次郎

○甲斐次郎時信長男時光青木十郎

○大膳木丈時信大僧正道信信云乃信美 武田兵庫以 信俊 川島源十郎

義信大郎

勝賴四郎

信雅左衛門佐

信盛仁科五郎

信貞葛山十郎

信勝太郎

信秀新五郎

父自害時昭外
下川後出生

女子木曾丸女義昌室

武田分流 奥田本國尾張

武田伊豆守信政三男

○信廣

奥田三郎

信政

尾列中島郡奥田村住

七代孫五郎貞光 舍弟信成 錦織四郎

信政十代伊豆守重光

尾列川岩城王

一男英光 孫五郎 一男貞久 雅康

信雄 九勢門住

濃勢中島郡江古良村住

邊江源氏

錦織

手嶋

山本氏 此系圖中引出入 本別景可有

○武田分流

綿織佐兵衛

義定

一男義兼

手嶋一冠者

号 栢木

信濃源氏 平賀分流

○平賀冠者盛義

二男有義

子資義

金沢次郎

○金沢次郎

武藏守

一男義信

二男朝信

小野三郎

曰武藏守義信

舍弟

資連

本津東方左衛門

信次

新津西方三郎

信乃源氏分流 小室系

○加美次遠光

長男秋太

光朝

同二男長清

小室系

正室信乃守

同三男光行

南郡三郎

同三男經光

加美見四郎

一男遠經

於曾

四守太郎

○長清乃守長光八代時長伴野六郎同七長朝光
中余太郎

○伴野時長三長朝孫六一長泰朝孫六

○中余太郎朝元長乃守長光大井又太郎

○小室原長往乃守長忠小室原信乃守二乃長能下余修理亮

○長忠乃守長政孫六一乃長直和市三郎二乃長氏信濃守

○信濃守長氏一乃宗長信乃守一乃貞宗信乃守二乃宗滿增田孫次郎

○長氏二乃長綱益田三郎一乃政宗山中四郎

○貞宗乃守男政長一乃清政中川遠江守

○政長乃守長基信乃守一乃長秀大膳大夫一乃政康一乃持長伊那三郎

○大膳大夫政康長乃持長二乃信濃守清宗一

嫡男政秀一乃光政林藤助
實政康乃宗康乃男

水尾系分派

阿波一宮

信乃古長清次男

○長房

古系阿波守
信位上三好

二男長政

三好祖

二男長久

二男宮内浦宗長曾成宗一宮祖

○成宗編男成行

阿波一宮

大宮司左京

三好分派

古系阿波守古房八代

○義長

三好信濃守
河波三好住

末孫長則

芥川又次郎

同末孫長正

十河民部丞日方冬長野口

仁木

足利義康男

○義清

足利兵衛判友代

二男義縁

兵衛藏人日三男

日三男

義實 廣澤親友 一男實因 仁木太師 同二男
義季 細川太師 總祖 同三男 義宗 戶賀倚次師
荒川祖

細川

廣澤義實二男
細川

○義季 一男俊氏 一男高直 賴直子 護守知氏
一男清氏 一男高太郎 昌氏 一男賴氏 村上太師
滿兼 村上二師

荒川

○戶賀倚次師 義宗 一男滿氏 荒川三師
二男宗氏 戶賀倚次師

畠山

足利太師 義純男

○泰爾 畠山三師 一男時國 一男貞國 一男家國 二男
義深 一男基國 二男波則 一男義忠 一男政國 一男
義統 一男義基 一男長紀 神保安藝守

甲中 富士分派
岩松

○足利義純常時朝 田中次郎

○日義純二男時兼 岩松藏人長男賴兼村田太郎曰次男
經兼 岩松五郎

三河源氏吉良分流

足利左馬次義氏長男

○足利上総太郎長氏二男國氏 今川元祖

○同長氏長男滿氏一男貞義 一男汝義 長男

滿貞 西余左兵衛 仇回二男義尊 東余中務大輔

回三男滿貴 因山民部大輔 回四男滿長 橋田八郎

東條荒川 東條四郎

足利左京大進滿義二男
○東條義尊長男義照 東余美作守 并御氏祖

義尊二男

○朝氏 時長 持 equal 義藤 義春

義弘荒川甲斐守二男 弘綱 次郎九郎 公義大番頭

○荒川甲斐守義弘男家儀平右衛門吉政伯耆守

吉任次郎九郎賴康次郎九郎賴資貞末女

賴久式部十五百石

駿河源氏今川家系畧

足利上統太師長氏二男

○今川五郎國氏長男太郎基氏二男國經五郎、
嫡男範氏曰二男伊豫守入道不俊貞世三男右衛門成兼

同四男右衛門佐仲秋

○範氏長男泰仁上總介男竹範政三男範忠二男
義忠上總介一男氏親五郎一男氏權同次男義元治承

○義元男氏実今川刑部太師嫡子範実左馬助男

範英左大將存高二女

○氏実一男高如出川内膳正
從四位上侍從

尾張源氏斯波分流

足利宮内少輔泰氏長男

○家氏足利太師長男義利廣澤太郎

○廣澤太郎義利斯波長男義博吉田三郎

○吉田三郎義博知義石橋左衛門督石橋祖

○家氏三男尾張守高綱經長男尾張守義植長男

滿種大野氏尾張大山城主

○斯波尾張守高經四男從三位左衛門督義將長男

從三位斯波義重長男正三位義淳二男義鄉正三位左衛門督

○正位左衛門督義鄉三男義健二男義廉正三位左衛門督

斯波義廉長男○義達赤林孫七郎長男宗次母八伊勢人日三男義俊津川

同三男義統三男義久津川義弘

○斯波義廉官義次牧左近大進

○牧左近大進義次男牧大和守義清男牧左近大進義俊守

牧氏室前清地傳信長在左塔

新田猶家 里見分流

新田次郎義重長男

○新田太郎義俊 里見祖 長男 義清 田中五郎 日四男

義行 豐后三郎

○義俊 三男 義成 伊賀守 長男 太郎 義基 三男

○義基 三男 義秀 竹林三郎 同三男 重基 中次三郎

同四男 義宗 大田四郎

是義成三男

○義基 大嶋藏人 同三男 特成 鳥山三郎

信濃源氏木曾家分流

朝日將軍左馬頭義仲男

○義清 清水冠者 同三男 義基 木曾三郎 同三男 義宗 朝日三郎

○義基 嫡孫 基家 三男 家仲 沼田右馬頭 信州沼田住

○家仲 長男 又太郎 家村 三男 家昌 安食三郎 同四男

家重 十村五郎 十村祖 上野國千村住

○義仲 六代孫 家範 三富基父 同家益 野路里右馬外

○義仲 六代孫 家實 伊豆守 上杉祖

備中源氏松井分流

六季利作右義十郎

○惟義

松井四郎相摸守

五代孫種義美公三郎

同六代孫惟忠

羽倉治政孫

同七代孫周義新川太師

同八代孫雲集

尾列古渡村元興寺住持

同十代孫忠次

九進大吏後松平上政松平因防守康親上政各

河内源氏石川家分流

八幡太師了義長五男義時八代志孫

○朝成小山十郎同九代孫政康石川下野守

尾張源氏山崎家分流

多田滿仲長男

武藏守滿政五代

依海守重宗男

○重實

栗太孀子重滿

伊達冠者同二男重遠

浦野坐庫外

同三男重之丞

高田守

同四男重清

水野十三郎

○伊達冠者重滿男重忠

山崎守

是ヨリ因田氏分ル因田將監志孫
土當將伊尾三因田友士

同二男重義

善平敷左司

○重清水野小三郎男重房石川三郎

孀子治忠水野

同四守

○高田忠房 室家一男 忠國 藏人 男 國元 右衛門尉 男宗 信藏人
男宗久 志水右衛門尉

別系

○山田次郎 室志三代 室親 左近將監 嫡子 光久

山田三郎左近
法光寺入道道西小
仕郎東後室奏上改

一 女子 濃州池田郡池田領地正統
早野左衛門佐春明室

二 室賴 山田次郎

室景又三郎 室宗 保志郎

三 室基 山田七郎

室經 七郎大郎 室朝 保三郎

四 室貞

室村 山田四郎
濃州則行地外

室村 保四郎

藤子氏 山田氏分統

○小田宗繼 八田權守 一男 知家 一男 知重 一男 康知 小田貞八郎

○二男 泰重 高田八郎左衛門尉 同三男 時繼 八田九郎左衛門

○八田知家 三男 家政 完戶四郎 同四男 知基 茂本三郎

同五男 知氏 甲九郎 二男 知胤 山田各三郎

○完戶四郎 一家 政界 家周 壹政守 一男 家宗 太郎丸 一男

家時 山野五郎

知家子別系

○義勝 中余法守 一男 義本 外田平右衛門

尾張氏丹羽系圖

足利義氏六男大進法印公保後胤
一色彌三郎氏宗男

○氏明

丹羽平三郎位
丹羽郡丹羽村位

氏範

勳六郎

氏從

永保守
丹羽郡丹羽村位

氏貞

新介
本郷村位

氏興

平島

氏清

若狭守
岩崎城主

氏藏

右進大夫
入道公休

氏勝

右進大夫

氏次

丹羽備
入道良家守

氏信

孝子備

氏政

氏重

治守介

諏訪家譜

○六條王經基王四男諏訪滿快五房祖男元訪滿圓

十代孫諏訪左近入道淨我

一子 美濃國也田郡池田領主後早野氏改
池田左衛門尉泰忠室

池田 後世早野氏改

大正二年改定稿

序

抑大邪政事統へ何國と重傳へきりといふ変と考ふ
 小此地より宣申の方小當てワイロバイト凡といふ
 寧國と利渡て一事編笠母か判とわしてや
 難波の葦の伊舞の濱荻下と重御爲といふと上
 不忠とある所替とを信濃の姪捨山の月ありて
 下の心あるとめう神川とあるや柀翠花の紅理と
 非ともある人か知る嗚呼世がよある諫鼓たて破て
 穢多村のよ後あびてねべし

己亥仲秋

大邦政事梳之圖

この形を丸く
入るとソコ
びん形をう



四目の故ハ膳の
中にて有るが如
くしてこれを
やうに持て身
をん中

かごみみの故ハ
親見がまゝ
申す小ふも
やうに
よこしめハ
あまのこしめ

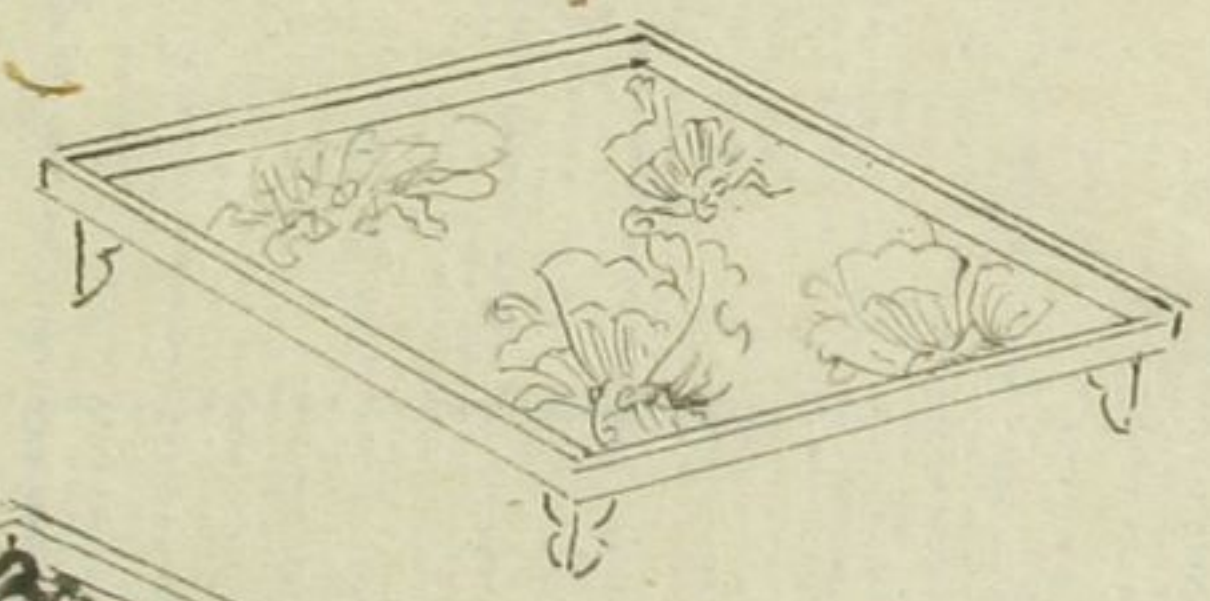


朝の字の故ハ朝
はあうこのか
三又



佐の字の故ハ
らん
まゝ申す用
井筒の故ハ
鏡の故ハ
コトは
うらう用

善ハ膳の中道
たてのうら
き収あり
きん
蟬の物あり



外小ニの格ハ
あしちの
是も物
うら
あし
は為

交小むつり川の四あう一言聞とるつてけ國の
 風俗素の由とていこうつて思はあつての
 因合の由思とつていふ人々思
 よひ一向理取のこころで國風
 それ申又悲傷の時もあつた
 酒宴のよふ飯あり



ちやい軒の岩の犬の身振
 けまき野の
 大よふの政事院の
 んん

行
 智あるをけり
 悪くもつておま
 こころ

是の誰のくん
 倅くんがあし
 けまきの思ふ

佐のまひ一向信あつて
 何れもあつた
 葉のこころ
 けりてあつて
 不しや
 ちや

中甚にあいもすいの
 おちやがぬらん
 こころ



遠のま放のへん由良の神の身振
 由良の助
 こころ
 前ま
 後より



忠厚な八坂目お加が
おとどお小お加と
おつてお加のイナアと
いひてお加のイナアと
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と

且ね達の船におおさてら
大分お加が
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と

佐の字のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と



親かばと
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と

子カバ
親か
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と

朝
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と
お加のお加と





朝
鈴先生があれ物まのい
あつらうと一どんあけてやが
はさうはあれまはさ
いのい
鈴
モウ一どんの退分
アが毒全下の
あ

朝
鈴
依夜



鈴
コウ甚公誠そら小佐の字ハ
蝶小おどつて海をもつ特
退役離へ流りてあひ小所であつて其替り
今般同役中
幸徳家か病氣
我んか才小うまのちや
小字多あてもヤツてねくがいひ
鈴
コがかりとあま
年ちまふハサ
浦傳う玉のあれ
あいつとさあ
朝
コリ朝う先生佐のま
ころあけ
朝
まがあまのま
イヤ
ころあけて
さ



辨

目録千人めらるる人

ひ國ハめらるる人

佐

蟬や堀の田舎

都者ダ

善人ハ

ふたれダ

甚
おれも二十手
おせす...
お善全の年々

兼

諸手

甚

朝

借金ハ并借す...
あつた...
誰...
...



堀ハ...

口上云の...

...

...



三つ子
 山奉り
 一人
 一人



諸君がこころが
 やまらあまら
 ちか
 ちか

聖人の道多し
 子供の事

孔子の時
 あり



金銀ハ入以カ
 夫も主人
 一人

不臣者
 あり



此本何より、二年自右石河及
 一、此乃為、山分、山續、
 一、此乃為、山分、山續、
 一、此乃為、山分、山續、
 一、此乃為、山分、山續、

持
 横場五清氏

